

大分市の住民登録人口 49年12月31日現在(前月比)	
人口	308,440人 (+828)
男	150,126人 (+415)
女	158,314人 (+413)
世帯数	93,200世帯 (+142)

おおいた 市報

第686号

昭和50年

2月1日

発行所
大分市役所
編集責任者
大分市秘書課長
橋本文治
印刷所 大分県印刷センター

老人福祉

敬老公園の計画すすむ

おとしよりに生きがいと健康を

「明るく豊かで住みよい」都市づくりをめざして、大分市では都市基盤・生活環境の整備や社会福祉の充実等の施策を強力に進めていますが、老人福祉の一環として「敬老公園」の建設を計画しています。

この敬老公園は全国的にも例のない斬新な珍しい施設で、これが完成しますと、とかく孤独で引込み勝ちな老人が積極的に戸外に出で、人々との交際に、自然との接触に、レクリエーションに、たのしむことが期待されます。

それでは老人層の利用を対象とした特色ある「敬老公園」の計画をご紹介しましょう。

①過去永い年月にわたり、社会貢献し、私たちにすばらしい意を表した公園とする。

②この公園の主な利用者は老人

維持につとめる。

③この公園は、自然の保護と景観の造成をよく考えて、環境の

十分な配慮をする。

④この公園の施設のすべては、

落着いたふん圍氣の魅力あるものとし、各施設とも老人に対する

十分な配慮をする。

⑤一般利用者の入園は制限しないが、老人優先の公園とする。

以上のことをもとに、とくに老人に魅力や興味のある敬老公園とし、ともすれば閉鎖的

になる老人が、楽しみながら適

くに運動して健康の増進をはか

り、生活中に張り合いを生み出

すようにと次の施設が計画され

ています。

⑥この公園の中心的施設として

昔の思い出がしのばれるよう

あります。

この公園の建物は昔の住宅の面影を

再現し周囲に古き時代の生活に

関する数々の物品を展示し、昔

をしのぶことができるようにな

ります。

また内部は老人が自由に楽しむことのできる談話の間や炉の間などを設けます。

この建物は昔の住宅の面影を

再現し周囲に古き時代の生活に

関する数々の物品を展示し、昔

をしのぶことができるようにな

ります。

また内部は老人が自由に楽し

むことのできる談話の間や炉の

間などを設けます。

1月12日、消防出初め式が大分川左岸の弁天橋下流で行われました。当日は7時30分から雪の舞う市内を40mはしご車、スノーケル車等市消防本部の精銳車両46台、200名が参加、市中パレードに繰り出し安東大分市長の観閲を受けました。このあと弁天橋下流に消防ポンプ車等153台、消防署、消防団員2,084名が参加し、安東大分市長の人員、服装、機械器具の点検を受けました。引きつづいて153台の消防ポンプ車から大分川に向けて一斉放水が行われました。



消防出初め式

カメラ・スポット

成人記念集会

15日は成人の日。市内では4,041の若人が大人として有権者として新しい人生のスタートを切りました。当時は大分市青年団体連絡協議会が新成人を迎えるとの立場から大分文化会館、鶴崎公民館で成人記念集会を開きました。一方、成人の日の前日、14日にはフェリー等の海上勤務をしている18名の方々の海上成人式がダイヤモンドフェリーの甲板上で開かれました。

文化会館、鶴崎公民館で成人記念集会を開きました。一方、成人の日の前日、14日にはフェリー等の海上勤務をしている18名の方々の海上成人式がダイヤモンドフェリーの甲板上で開かれました。



戸籍関係届けシート

4

届け出る人

うけて下さい。

届け出る人

